



论兵绝句

——《武经七书》研读心得

◎ 邹小平 著



军事科学出版社

论兵绝句

《武经七书》研读心得

邹小平 著

军事科学出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

论兵绝句:《武经七书》研读心得/邹小平著. —北京:
军事科学出版社, 2007. 5

ISBN 978 - 7 - 80237 - 061 - 6

I. 论… II. 邹… III. 兵法—研究—中国—古代 IV.
E892

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2007) 第 029146 号

军事科学出版社出版发行

(北京市海淀区青龙桥/邮编: 100091)

电话: (010) 62882626

经销: 全国新华书店

印刷: 北京鑫海达印刷厂

开本: 850 毫米 × 1168 毫米 1/32

版次: 2007 年 5 月北京第 1 版

印张: 17.75

印次: 2007 年 5 月第 1 次印刷

字数: 400 千字

印数: 1—5500 册

书号: ISBN 978 - 7 - 80237 - 061 - 6

定价: 28.00 元



一个有责任感的军人 时刻都应该准备着

常万全

邹小平同志恳请我为他用时五载，现已成稿并即将出版的诗集《论兵绝句》作序，这确实是给我出了一个不大不小的难题。过去我从未写过诸如此类的东西，但作为军人，对论兵的作品我还是极感兴趣的，答应看看书稿，先学习学习再说。

因工作的原因，在抽时间断断续续阅读完书稿后，发现这是一本很有特点的诗集。该书稿共收录了作者五百首七言绝句，每一首绝句都对应一篇兵法，生动地记述和阐发了个人研读我国古代兵法的心得及感悟。相信读者从中不仅可以感受到作者忙里偷闲研习兵法的乐趣，还可以看到作者在对古代兵法蕴藏的深刻内涵孜孜以求后，用绝句这种方式表达出的属于自己的独到思索与见解。实在地讲，格律诗，特别是绝句（古亦称截句），由于受字数、平仄韵脚等因素的束缚，写好了不容易。古诗词和古兵法，是中华民族给世人留下的两大



优秀文化遗产，博大精深，弥足珍贵。近年来，诠释古代兵法的书籍和关于市场与战场、用兵之道与商战方面的出版物委实不少。但从军人的视角，以七言绝句的形式，来逐篇诠释《武经七书》的作品却不多见。鲁迅说过：“水管里喷出的是水，血管里喷出的是血。”一个人的本色是什么样的，他写出的东西，无论是什么题材的，都脱离不了他的本色，军人应该自有军人的情怀和军人的本色。宋代名将岳飞在游翠微亭时，听到的都是金戈铁马阵阵声。诗人和军人的区别在于：诗人，是用笔蘸着墨在写；军人，是用剑蘸着血在写。存留下的作品，都将随着时光的流逝而夹藏在历史的皱褶深处，任由后人翻检评说。

自古知兵非好战。共产党人反对战争，却不得不用战争制止战争。千百年来，人们一直向往和平与稳定的生活，但战争一直离我们很近，和平却离我们很远。这不能不是一个悖论，也是整个人类社会的悲剧与不幸。今天的世界，发展并生危险，挑战与机遇同在。

很多到过大洋彼岸的人都说，看到和感受到的不仅仅是异国军人们的未来意识、科技意识、忧患意识和危机感，更为值得沉思的现象是，不少军官都拥有一部中国古老的《孙子兵法》，对孙子推崇和情有独钟的程度，似乎不亚于这部著作诞生的国度。这是为什么？

在美国军人的字典里，没有和平时期，只有战争时期和战争准备时期。我个人则一直认为，在国家和集团

利益还存在的情况下，战争，只有显形期和隐形期；较量，每时每刻都在进行。区别只不过在于显形期里是“硬较量”，隐形期里是“软较量”。而且，“软较量”的高下，往往决定“硬较量”的结局。未来的较量在今天，今天的较量在思想，思想的较量在素质，素质的提高在文化和教育。当然，这里的文化指的是广义上的文化。

今天，处在后发之势的国家、民族和军队，普遍需要警惕和克服的是渴望捷径的浮躁心态，因为寻找捷径的真正危险在于事实上没有捷径。如果说技术和装备的现代化花钱还可以买来的话（事实上核心和关键技术想买也难），而人的素质是无论如何也买不来的，惟一的出路就是靠自身去踏踏实实地不懈努力。在这上面不要企望会有奇迹发生，也没有捷径可走，任何意义上的寻求跨越和寻找捷径的努力，最终都会导致走更大的弯路，惨痛的代价是耽误更多的宝贵时间。

“软”战场上的“软较量”，最是消磨血性和灵魂的炼狱。在这里，要么沉沦，要么升腾。

生于忧患，死于安乐，安不忘危，忘战必危，这些千古恒言，比以往任何历史时期都更加具有警世作用。

战胜对手，首先要战胜自己。

最大的危机，是没有危机感。

一个有责任感的军人，时刻都应该准备着！枕戈待旦，闻鸡起舞，夜以继日。

一支军队最大的财富并非几件新式兵器，而是拥有一大批什么时候都想打、敢打、善打、能打的热血儿男。对一支迈向现代化的军队来说，比更换装备更重要也更困难的是更新观念。比争取经费更重要也更困难的是学会学习。

未来的战争，是知识型战争。今天的军人，应该是学习型的军人。

个人的素质提高一小步，国家、民族和军队的整体素质就会前进一大步。

追求，源于目标。目标有多高，追求就有多大。

“才”与“不才”的区别，往往在于有没有理论思维和在其指导下采取果断的持续行动。差距在8小时以内，更在8小时以外。关键是有没有责任感，善不善于学习，会不会用脑子干活，能不能持之以恒。

兵法，绝句，简约却不简单。

以上是由读《论兵绝句》，引发出的一些感想，不知是否可以有序。

2006年3月于沈阳

《武经七书》简介

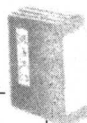
中国历史上的军事典籍浩如烟海，仅西汉初年收集整理的就有一百八十二家兵法。自汉以来，就把古代杰出兵书当作军事人员学习的“教科书”。北宋神宗时，建立“武学”，培养军事将领。宋神宗元丰年间（1078—1085年）正式颁布《孙子》、《吴子》、《六韬》、《司马法》、《黄石公三略》、《尉缭子》、《唐李问对》为武学必读之书，号称《武经七书》，又名《武学七书》，或简称《七书》。宋高宗时，指定“七书”为选拔将领的考试内容之一。《武经七书》，是我国古代军事著作的代表和精华，是古代将帅智慧的集中体现，是古代战争实践的经验总结，对后代军事理论与实践有着十分重要的影响和指导意义。



《孙 子》篇

兵者大事	(7)	智者御军	(21)
何者为道	(8)	乱军三事	(22)
何者为天	(9)	引胜五经	(23)
何者为地	(10)	先为不败	(24)
何者为将	(11)	攻守之道	(25)
何者为法	(12)	闻雷非聪	(26)
虚实诡道	(13)	胜于不忒	(27)
多算者胜	(14)	贵在造势	(28)
日费千金	(15)	奇正相生	(29)
速成久废	(16)	势弓节弩	(30)
智将食敌	(17)	斗乱不乱	(31)
善用激励	(18)	任势择人	(32)
谋攻法则	(19)	致人防致	(33)
量敌用兵	(20)	专我分敌	(34)
		知战地时	(35)
		因敌变化	(36)

最难军争	(37)	通形挂形	(63)
军争之法	(38)	支形用兵	(64)
进退一致	(39)	隘形用兵	(65)
避锐击归	(40)	险形远形	(66)
围师必阙	(41)	军有六败	(67)
因地择势	(42)	走弛陷败	(68)
有所不为	(43)	崩败乱败	(69)
兼顾利害	(44)	最愚北败	(70)
将有五危	(45)	唯实唯公	(71)
山地行军	(46)	将之大德	(72)
江河行军	(47)	爱兵之法	(73)
沼泽行军	(48)	半成胜率	(74)
平原行军	(49)	知战原则	(75)
山林行军	(50)	战地九类	(76)
驻扎渡水	(51)	散地轻地	(77)
相敌之一	(52)	争地用兵	(78)
相敌之二	(53)	交地衢地	(79)
相敌之三	(54)	重地圯地	(80)
相敌之四	(55)	围地用兵	(81)
相敌之五	(56)	死地用兵	(82)
相敌之六	(57)	乱敌体系	(83)
并力料敌	(58)	唯利唯我	(84)
不服不用	(59)	迅雷不及	(85)
文武兼治	(60)	敌国作战(一)	(86)
互信为重	(61)	敌国作战(二)	(87)
地有六形	(62)	敌国作战(三)	(88)



常山之蛇	(89)	师名有五	(119)
统军行事	(90)	贤者居上	(120)
有进无退	(91)	得师者王	(121)
特令独行	(92)	先戒为宝	(122)
千里杀将	(93)	猎敌两肋	(123)
战争初期	(94)	乘乖猎散	(124)
动若脱兔	(95)	先夺其气	(125)
火攻有五	(96)	破敌固守	(126)
兵借火势	(97)	击之勿疑(一)	(127)
水火无情	(98)	击之勿疑(二)	(128)
举兵当慎	(99)	击之勿疑(三)	(129)
用间休吝	(100)	击之勿疑(四)	(130)
良将用间	(101)	击之勿疑(五)	(131)
间有五种	(102)	击之勿疑(六)	(132)
因间内间	(103)	击之勿疑(七)	(133)
最贵反间	(104)	击之勿疑(八)	(134)
最冤死间	(105)	避之勿疑	(135)
最多生间	(106)	用兵何先	(136)
间谍地位	(107)	以治为胜	(137)
用间须知	(108)	必死则生	(138)
		教戒为先	(139)
		将总文武	(140)
		将之所慎	(141)
		将有四知	(142)
		何为良将	(143)
		军有三威	(144)

《吴 子》篇

文德武备	(115)
教化亲民	(116)
为政四德	(117)
战因有五	(118)



论兵绝句

因形用权(一)	(145)	守土要则(二)	(176)
因形用权(二)	(146)	守土要则(三)	(177)
因形用权(三)	(147)	天道纪纲	(178)
相逢先探	(148)	发阴会阳	(179)
众易少隘	(149)	无争无逊	(180)
击强之道	(150)	伤王之德	(181)
众寡之道	(151)	伤王之化	(182)
谷战要领	(152)	伤王之权	(183)
破城之后	(153)	害王之威	(184)
赏罚之外	(154)	伤臣之劳	(185)
激无功者	(155)	勿使为将	(186)
		勿与之谋	(187)
		勿与之近	(188)
		谨勿宠之	(189)
		谨勿任使	(190)
		王者必禁	(191)
		贤才难得	(192)
		举贤之道	(193)
		赏信罚必	(194)
		先观向背	(195)
		智谋勇利	(196)
		取天下者	(197)
		鸷鸟将击	(198)
		无为而治	(199)
		文伐之一	(200)
		文伐之二	(201)

《六韬》篇

垂钓三权	(163)
言至事极	(164)
祸福在君	(165)
帝君之德	(166)
爱民之一	(167)
爱民之二	(168)
爱民之三	(169)
上监下沉	(170)
为上之道	(171)
听言之道	(172)
事止有三	(173)
事兴有四	(174)
守土要则(一)	(175)

文伐之三	(202)	奇兵战术(二)	(228)
文伐之四	(203)	奇兵战术(三)	(229)
为天下政	(204)	奇兵战术(四)	(230)
兵道贵一	(205)	奇兵战术(五)	(231)
攻强养强	(206)	奇兵战术(六)	(232)
离亲以亲	(207)	将失军衰(一)	(233)
散众以众	(208)	将失军衰(二)	(234)
三疑之解	(209)	疾战突围	(235)
股肱羽翼	(210)	夜间突围	(236)
将有十过	(211)	天险突围	(237)
选将之一	(212)	临境相拒	(238)
选将之二	(213)	先扰后击	(239)
拜将之后	(214)	动之以静	(240)
将何以威	(215)	静之以动	(241)
励士之一	(216)	以戒为固	(242)
励士之二	(217)	深楔敌境	(243)
励士之三	(218)	攻城之前	(244)
励士之四	(219)	围敌出奔	(245)
阴符秘语	(220)	遇敌火攻	(246)
阴书三分	(221)	林战之一	(247)
用兵不言	(222)	林战之二	(248)
胜在战前	(223)	突战之一	(249)
军机之要	(224)	突战之二	(250)
战必见形	(225)	强敌夜袭(一)	(251)
智者不失	(226)	强敌夜袭(二)	(252)
奇兵战术(一)	(227)	敌众我寡	(253)



论兵绝句

鸟云山兵(一)	(254)	将德之三	(285)
鸟云山兵(二)	(255)	将德之四	(286)
鸟云泽兵	(256)	乱源之一	(287)
以少击众	(257)	乱源之二	(288)
以弱击强	(258)	乱源之三	(289)
失机定斩	(259)	乱源之四	(290)
何而可击	(260)	乱源之五	(291)
教战之道	(261)	为政当知	(292)

《黄石公三略》篇

务揽人心	(269)	因材用人	(293)
刚柔相济	(270)	慎论敌长	(294)
恃贤与民	(271)	主臣德威	(295)
大利所在	(272)	三略功效	(296)
爱民为尊	(273)	功成之后	(297)
国之干本	(274)	和谐为要	(298)
招贤纳士	(275)	广德者强	(299)
良将用兵	(276)	千里迎贤	(300)
将威令行	(277)	废善善衰	(301)
统军执势	(278)	逆令失令	(302)
恕己治人	(279)	圣人君子	(303)
士不可慢	(280)	天道恶战	(304)
将十二能	(281)	伤贤害己	(305)

《尉繚子》篇

将所宜闻	(282)	成事在人	(313)
将德之一	(283)	胜外备内	(314)
将德之二	(284)	备于无形	(315)

兵争忌匆	(316)	治军处事(一)	(342)
将忌束缚	(317)	治军处事(二)	(343)
令行禁止	(318)	治军处事(三)	(344)
军乱四形	(319)	治军处事(四)	(345)
生死两情	(320)	治军处事(五)	(346)
农战政策	(321)	治军处事(六)	(347)
政治取胜	(322)	正义之师	(348)
军威取胜	(323)	太公之用	(349)
力战取胜	(324)	胜兵似水	(350)
兵心第一	(325)	人和最贵	(351)
战前准备	(326)	战地无尊	(352)
争主动权	(327)	吴起临战	(353)
命令准则(一)	(328)	兵刑合一	(354)
命令准则(二)	(329)	官者事主	(355)
古人带兵(一)	(330)	只求自己	(356)
古人带兵(二)	(331)	千权万武	(357)
兵聚将专	(332)	智变有无	(358)
兵无两畏	(333)	战权之争	(359)
信在期前	(334)	被动将咎	(360)
聚不虚散	(335)	意往不疑	(361)
临敌贵稳	(336)	慎言慎行	(362)
因战择机	(337)	内畏外坚	(363)
曲胜非全	(338)	保密防奸	(364)
猝临疾战	(339)	营区管理	(365)
守城法则	(340)	战场赏罚	(366)
守城靠援	(341)	战场杀人	(367)



论兵绝句

《司马法》篇

- | | | | |
|---------------|-------|------------|-------|
| 养成知进 | (368) | 战争原则 | (401) |
| 训练之法 | (369) | 战争道理 | (402) |
| 奇正运用 | (370) | 忘战必危 | (403) |
| 作战三累 | (371) | 春振秋治 | (404) |
| 军令威严 | (372) | 节制战力 | (405) |
| 踵军行动 | (373) | 敌降免死 | (406) |
| 兴军行动 | (374) | 圣德之治 | (407) |
| 步兵操练 | (375) | 贤王之治 | (408) |
| 失训者惩 | (376) | 进入敌国 | (409) |
| 全军合练 | (377) | 治诸侯者 | (410) |
| 训练养威 | (378) | 君民之责 | (411) |
| 教战养志 | (379) | 古之教民 | (412) |
| 领军十二(一) | (380) | 德义勿逾 | (413) |
| 领军十二(二) | (381) | 识人之法 | (414) |
| 领军十二(三) | (382) | 服从命令 | (415) |
| 为将舍身 | (383) | 教贵简明 | (416) |
| 用人要诀 | (384) | 教化德高 | (417) |
| 兴师度势 | (385) | 古时命令 | (418) |
| 攻城度势 | (386) | 军威有节 | (419) |
| 文德武力 | (387) | 治国治军 | (420) |
| 将比秤砣 | (388) | 战胜归来 | (421) |
| 虚实秘体 | (389) | 凡战定爵 | (422) |
| 大军将动 | (390) | 凡战固众 | (423) |
| 战场铁纪 | (391) | 未战五筹 | (424) |
| 兵之三胜 | (392) | | |
| 兵不在多 | (393) | | |

顺天阜财	(425)	阵前命令	(451)
怵众勉若	(426)	与敌对峙	(452)
教练惟豫	(427)	战地罚过	(453)
行己所能	(428)	胜战四法	(454)
大军以固	(429)	两心交定	(455)
轻车轻徒	(430)	轻重兵地	(456)
临战参详	(431)	急轻舒重	(457)
战中祸患	(432)	将之所忌	(458)
通权达变	(433)	士之五死	(459)
贵信恶疑	(434)	备战限时	(460)
危勿忘众	(435)	仁本兵末	(461)
将在军中	(436)	尽用则危	(462)
厚教静治	(437)	用兵之难	(463)
为善则长	(438)	既胜若否	(464)
七大政事	(439)	推功揽过	(465)
四大典守	(440)	击弱避强	(466)
将威所在	(441)	寡烦众进	(467)
仁而有信	(442)	远褻阙之	(468)
统御之法	(443)	寡以待众	(469)
求贤之法	(444)	为敌所围	(470)
治乱之道	(445)	选择战地	(471)
立法之道	(446)	挑敌观变	(472)
令出法随	(447)	敌之可击	(473)
严位栗政	(448)	追逃谨记	(474)
分责定序	(449)	进退敌都	(475)
矛弓教战	(450)	把握节度	(476)